

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第7部門第1区分

【発行日】令和5年12月20日(2023.12.20)

【国際公開番号】WO2023/140338

【出願番号】特願2023-524923(P2023-524923)

【国際特許分類】

H 01M 50/178(2021.01)

H 01M 50/198(2021.01)

H 01M 50/193(2021.01)

H 01G 11/80(2013.01)

H 01G 11/84(2013.01)

H 01M 50/184(2021.01)

10

【F I】

H 01M 50/178

H 01M 50/198

H 01M 50/193

H 01G 11/80

H 01G 11/84

H 01M 50/184

C

20

【手続補正書】

【提出日】令和5年4月24日(2023.4.24)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

蓄電デバイス素子の電極に電気的に接続された金属端子と、前記蓄電デバイス素子を封止する蓄電デバイス用外装材との間に介在される、金属端子用接着性フィルムであって、

前記金属端子用接着性フィルムの少なくとも一方側の表面は、3種類以上の構成単位を含む樹脂により形成されてなり、

前記樹脂は、ポリエステル構造Aを含み、

前記ポリエステル構造Aは、少なくともポリブチレンテレフタレート構造を有し、

前記樹脂は、融解ピーク温度が170以上である、金属端子用接着性フィルム。

【請求項2】

前記樹脂は、ポリエーテル構造及びポリエステル構造Bからなる群より選択される少なくとも1種を有する、請求項1に記載の金属端子用接着性フィルム。

【請求項3】

前記金属端子用接着性フィルムの総厚みが、50μm以上500μm以下である、請求項1または2に記載の金属端子用接着性フィルム。

【請求項4】

前記蓄電デバイス用外装材が、全固体電池用、半固体電池用、擬固体電池用、ポリマー電池用、又は全樹脂電池用外装材である、請求項1または2に記載の金属端子用接着性フィルム。

【請求項5】

金属端子に、請求項1または2に記載の金属端子用接着性フィルムが取り付けられてなる、金属端子用接着性フィルム付き金属端子。

30

40

50

【請求項 6】

少なくとも、正極、負極、及び電解質を備えた前記蓄電デバイス素子と、当該蓄電デバイス素子を封止する前記蓄電デバイス用外装材と、前記正極及び前記負極のそれぞれに電気的に接続され、前記蓄電デバイス用外装材の外側に突出した前記金属端子とを備える蓄電デバイスであって、

前記金属端子と前記蓄電デバイス用外装材との間に、請求項 1 または 2 に記載の金属端子用接着性フィルムが介在されてなる、蓄電デバイス。

【請求項 7】

少なくとも、正極、負極、及び電解質を備えた前記蓄電デバイス素子と、当該蓄電デバイス素子を封止する前記蓄電デバイス用外装材と、前記正極及び前記負極のそれぞれに電気的に接続され、前記蓄電デバイス用外装材の外側に突出した前記金属端子とを備える蓄電デバイスの製造方法であって、

10

前記金属端子と前記蓄電デバイス用外装材との間に、請求項 1 または 2 に記載の金属端子用接着性フィルムを介在させて、前記蓄電デバイス素子を前記蓄電デバイス用外装材で封止する工程を備える、蓄電デバイスの製造方法。

【請求項 8】

金属端子用接着性フィルムと、蓄電デバイス用外装材とを含む、キットであって、

前記金属端子用接着性フィルムの少なくとも一方側の表面は、3種類以上の構成単位を含む樹脂により形成されてなり、

20

前記樹脂は、ポリエステル構造 A を含み、

前記ポリエステル構造 A は、少なくともポリブチレンテレフタレート構造を有し、

前記樹脂は、融解ピーク温度が 170 以上であり、

用時に、蓄電デバイス素子の電極に電気的に接続された金属端子と、前記蓄電デバイス素子を封止する蓄電デバイス用外装材との間に、前記金属端子用接着性フィルムを介在させ、前記蓄電デバイス素子を前記蓄電デバイス用外装材で封止するように用いられる、キット。

【請求項 9】

蓄電デバイス素子の電極に電気的に接続された金属端子と、前記蓄電デバイス素子を封止する蓄電デバイス用外装材との間に介在される、金属端子用接着性フィルムの製造方法であって、

30

前記金属端子用接着性フィルムの少なくとも一方側の表面は、3種類以上の構成単位を含む樹脂により形成されてなり、

前記樹脂は、ポリエステル構造 A を含み、

前記ポリエステル構造 A は、少なくともポリブチレンテレフタレート構造を有し、

前記樹脂は、融解ピーク温度が 170 以上である、金属端子用接着性フィルムの製造方法。

40

50